

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-1	文学研究科の理念		変更の有無
	文学研究科がその理念の中心に掲げるのは、人文科学の深い学識に裏付けられた人格の陶冶と、卓抜した水準における学術研究を通じた社会への貢献である。		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し
A-2	文学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)	文学研究科の目的(Webサイト上)	変更の有無
	<p>人文科学の領域において、現代の高度な学問の進展に応じた研究を推進し、人格を陶冶するとともに、その研究の成果を学界、教育界、一般社会に還元することが必要である。具体的には、それぞれの学術領域に大きな貢献をなす専門的研究者を養成すること、高い専門性を活かして実社会の様々な場所で活躍することのできる高度専門職業人を養成すること、そして知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人間を育成すること、のそれぞれを重視する。</p> <p>以下に専攻ごとの目的掲げるとともに、さらに三専攻に共通する目標を示す。</p> <p>文化歴史学専攻 文化歴史学専攻は、真・善・美の理想を求めて空間と時間の中を生きる人間の基礎的構造及び歴史について、高度な教育研究を行う。</p> <p>総合心理学専攻 総合心理学専攻は、現代社会に生きる人間の心理的諸相について、認知・行動・発達の観点から、その病理を含めて、高度な教育研究を行う。</p> <p>文学言語学専攻 文学言語学専攻は、言葉を持ち文化を形成する人間の営為について、文学と言語の両面から高度な教育研究を行う。</p> <p>共通の目標 前期課程では、研究者養成の第一段階として、後期課程との連携も視野に入れた研究教育を行うとともに、高い学識と豊かな創造性を携えて社会に貢献できる人間を育成する。後期課程では、高度な研究を継承かつ推進していく博士号を持つ優れた研究者を養成する。</p>	<p>文学研究科が目的とするのは、人文科学の領域において、現代社会の高度な学問の進展に応じた研究を推進し、その成果を学界、教育界、一般社会に還元することであり、それは具体的には、それぞれの学術領域に大きな貢献をなす専門的研究者を養成すること、あるいは高い専門性を活かして、現実社会の様々な場所で活躍することのできる高度専門職業人を養成することによって実現される。とくに後期課程では、高度な研究の継承と発展とを担う博士号を持つ優れた研究者の養成をめざしている。また前期課程では、後期課程との連携に主眼をおくとともに、高い学識を身につけて専門職に従事する人材の養成や、社会人の再教育機関としての役割も重視するところである。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	めざす学生像		変更の有無
	<p>文学研究科は人文科学の領域にあって現代社会が突き付けてくる諸課題と対峙しうる高い学識ならびに陶冶された人格を持った研究者と高度専門職業人の養成を目的としている。そうした観点から提示しうる「めざす学生像」は以下のようにまとめられる。</p> <p>前期課程:学部での学修成果をふまえてより高度な専門的知識を身につけていくとともに、創造的な研究へのとっかかりになる課題発見・探求能力を持った学生。</p> <p>後期課程:自らの研究を計画的に遂行・実践して、その成果を学内外に向けて発信していく機会を積極的に作り出し、そこで得た刺激や教示を真摯にうけとめ、将来的に自立した研究者たりうる能力と資質を具えた学生。</p>		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	学位授与方針(ディプロマ・ポリシー;DP)		変更の有無
	<p>文学研究科では、人文科学の基礎領域及び応用実践領域での研究者・高度専門職業人と、知識基盤社会を支える高度で知的な素養を有する人材の養成を目的としている。その実現に向けての第一段階として、博士課程前期課程においては、高度な専門的知識を得るとともに柔軟な思考能力ならびに優れた技能を培うために必要な科目を32単位以上修得し、修士論文審査に合格しなければならない。博士課程後期課程においては、前期課程で得た知見を継承しつつも、現代の高度な学問の進展に応じた研究をさらに推進し、その成果を社会に発信していく博士学位を有する研究者の養成をめざす。そのためには所定の年限以上在籍し、必修科目を12単位以上修得するとともに、必要な研究指導を受けて博士論文審査に合格しなければならない。</p>		<input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し

2015年度 自己点検・評価【文学研究科】

A票

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-1.「理念」、A-2.「目的」「めざす学生像」「学位授与方針」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「文学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」は、「A-1. 文学研究科の理念」に沿い、めざす方向性を適切に表現しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「文学研究科の目的(Web サイト上)」は、A-2「文学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」に沿った内容であり、社会に対して分かりやすい表現になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「めざす学生像」と「学位授与方針」は、A-2「文学研究科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(学則上)」、「文学研究科の目的(Web サイト上)」と整合性が取れ、目的の実現に向けて相応しい内容となっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学位授与方針は、学位授与にあたり、学位授与基準および当該学位に相応しい学習成果を明確に示しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認5】	学位授与方針に基づく学習成果を測定するための評価指標を開発し、適切に成果を測るよう努めているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認6】	目的、「めざす学生像」、「学位授与方針」は周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	研究科委員会での審議による。
	決定・判断時期	随時
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	研究科執行部会で現状を把握の上、大学院問題検討委員会において課題を整理している。
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり (内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり (内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	執行部会議事録・大学院問題検討委員会議事録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他 ()	

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-3

教育研究目標		変更の有無
目標1	(タイトル) 課程博士育成の促進と学位取得率の安定化	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 審査制度を持つ学協会誌への論文投稿や国内外で開催される学会・シンポジウムにおける発表に結びつくような教育指導体制の充実化をめざすとともに、現在各領域が提示している「博士学位論文提出要件」についての検討も不断に行いながら、優れた研究成果を携えた博士学位取得者を安定的かつ継続的に輩出できるよう努める。	
目標2	(タイトル) 研究支援体制のさらなる充実化	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 文学研究科が2008年度よりスタートさせた「研究支援制度」の見直し、点検を図り、大学院生が外部との競合的關係の中で研究能力を伸長させていく機会や場の拡充を図る。	
目標3	(タイトル) 教員・院生間の学術交流の活性化と各領域の知の結集化	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容) 大学院指導教員と大学院生とが一丸となって高い学識を持った集団に育っていくために教員・院生が一堂に会する研究発表会をスタートさせ軌道に乗せていくとともに、前期課程の授業においては各領域の知を結集して現代の学問的課題に応え得る「文学研究科特殊講義」の見直しと定着化を図る。	
目標4	(タイトル)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容)	
目標5	(タイトル)	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	(狙い・内容)	

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-3. 「教育研究目標」に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	「教育研究目標」は、A-2「目的」、「めざす学生像」の実現に向けて、相応しい内容であるか、適切な表現であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	「教育研究目標」は、教育の質向上に向けた意欲的な内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	「教育研究目標」は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	研究科委員会での審議による
	決定・判断時期	随時
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	研究科執行部会で現状を把握して問題点があればそれを洗い出したのを受けて将来構想委員会で方向性を打ち出し、大学院問題検討委員会がさらにその適切性を検証する。
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり(内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	執行部会議事録・将来構想委員会議事録・大学院問題検討委員会議事録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他(入学時オリエンテーション時に説明)	

＜理念、目的、教育研究目標、方針等＞設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-5

学生の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー;AP)	変更の有無
<p>博士課程前期課程</p> <p>前期課程においては、豊かな人間性と幅広い教養をそなえた高度専門職を養成し、さらに研究者養成の第一段階として高度な専門的知識を教授するとともに創造的な研究のための柔軟な思考能力と優れた技能を育成します。そのために学部での学修の成果が一定の水準以上に達していることを入学試験が課す問題で証明することができ、そこから転じてさらなる研究に向かう強い意欲と計画性とを提示することができる者を求めます。</p> <p>博士課程後期課程</p> <p>後期課程においては、高度な研究の継承とそれを創造的に推進する博士学位をもつ優れた研究者を養成します。人文科学の領域において、現代の高度な学問の進展に応じた研究を推進し、その研究の成果を学界、教育界、一般社会に還元することを重視しています。こうした方針に基づいて修士論文を中心とする前期課程における学修の成果の裡に、自らの選んだ専門領域に関して幅広く研鑽を積んだ証と従来の研究に対峙しうる独創的な発想の萌芽的形態が見られる者、加えて後期課程入学後学位申請論文提出までのけっして短くはない期間を自立した粘り強い姿勢で研究対象と取り組んでいかれる者を求めます。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-5. 学生の受け入れ方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認	チェック欄												
【確認1】 学生の受け入れ方針は、A-2「学位授与方針」、A-4「教育課程の編成・実施方針」と整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認2】 学生の受け入れ方針は、理念・目的、教育研究目標を踏まえ、入学時に求める学生像や、修得しておくべき知識等の内容・水準等を明らかにしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認3】 学生の受け入れ方針と、実際の学生募集方法、入学者選抜の実施方法は整合性が取れているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
【確認4】 学生の受け入れ方針は、周知・公表されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">適切性の検証体制を明確にしているか</td> <td style="width: 15%;">責任主体・組織(承認・決裁)</td> <td>研究科委員会(議長:研究科委員長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検証手続き</td> <td>研究科委員会での審議による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>決定・判断時期</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検証エビデンス</td> <td>研究科委員会議事録</td> </tr> </table>	適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)		検証手続き	研究科委員会での審議による		決定・判断時期	随時		検証エビデンス	研究科委員会議事録	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)											
	検証手続き	研究科委員会での審議による											
	決定・判断時期	随時											
	検証エビデンス	研究科委員会議事録											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">検証プロセスを適切に機能させているか</td> <td style="width: 15%;">検証方法(指標、測定方法など)</td> <td>研究科執行部会で現状を把握の上、大学院問題検討委員会において課題を整理している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>成果</td> <td><input checked="" type="checkbox"/>成果あり (内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/>成果なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改善・伸長に向けた</td> <td><input type="checkbox"/>計画あり (内容:) <input checked="" type="checkbox"/>計画なし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>検証エビデンス</td> <td>執行部会議事録・大学院問題検討委員会議事録</td> </tr> </table>	検証プロセスを適切に機能させているか	検証方法(指標、測定方法など)	研究科執行部会で現状を把握の上、大学院問題検討委員会において課題を整理している。		成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり (内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/> 成果なし		改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり (内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし		検証エビデンス	執行部会議事録・大学院問題検討委員会議事録	
検証プロセスを適切に機能させているか	検証方法(指標、測定方法など)	研究科執行部会で現状を把握の上、大学院問題検討委員会において課題を整理している。											
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり (内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/> 成果なし											
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり (内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし											
	検証エビデンス	執行部会議事録・大学院問題検討委員会議事録											
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (文学研究科入試要項)												

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-6

学生支援に関する方針		変更の有無
	院生が研究に専念できる環境整備を可能な限り追求すると共に、非研究職への就職を希望する院生の進路支援体制を構築する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
修学支援	日本学術振興会特別研究員制度や本学の各種研究奨励制度の周知をはかり、それらへの積極的応募を推進すると同時に、文学研究科が2008年度よりスタートさせた独自の研究支援制度における補助対象項目を見直し、すべての院生にとって利用可能な制度への改善をはかる。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
生活支援	日本学生支援機構大学院奨学生やベーツ奨学金制度の周知をはかり、それらへの積極的応募を推進する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
進路支援	非研究職に就職する院生が多数を占める現状を踏まえ、キャリアセンターと連携をとりつつ、修士課程段階における進路選択や就職に関する支援体制の構築をめざす。	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-6. 学生支援に関する方針について、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	学生支援の方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、理念・目的、入学者の傾向等の特性を踏まえた内容になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	方針に沿って、修学支援、生活支援、進路支援のための仕組みや体制を整備し、適切に運用しているか。 (下記のことが明らかであることに留意する。) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><修学支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・留年者及び休・退学者の状況把握と対処 ・学生の能力に応じた補習・補充教育の実施 ・障がい学生に対する修学支援の実施 ・奨学金等の経済的支援の実施 <p><生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室等、学生の相談に応じる体制の整備、学生への案内 ・各種ハラスメント防止に向けた取り組み </div>	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	学生の進路支援は、入学者の傾向等の特性を踏まえながら、進路選択に関わる指導・ガイダンスの実施の点から取り組んでいるか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認4】	学生支援に関する方針(修学支援、生活支援、進路支援)は、教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	研究科委員会での審議による。
	決定・判断時期	随時
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
検証プロセスを適切に機能させているか		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない
	検証方法(指標、測定方法など)	研究科執行部会で現状を把握の上、大学院問題検討委員会において課題を整理している。
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり(内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり(内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	執行部会議事録・大学院問題検討委員会議事録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input checked="" type="checkbox"/> 履修心得 <input type="checkbox"/> 学院Webサイト <input checked="" type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他()	

<理念、目的、教育研究目標、方針等>設定・確認シート

作成日:2016年2月19日

責任者	文学研究科委員長	作成部局	文学研究科
-----	----------	------	-------

A-7

教員像		変更の有無
(研究者として)高度な専門知識や技能を有しつつ、学際的な研究にも開かれ、自らの学識をもって積極的に社会貢献を行う研究者 (教育者として)人文科学の領域に貢献をなす専門的研究者および高い専門性を活かして実社会の様々な場所で活躍することのできる高度専門職業人の養成、並びに知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人間の育成に誇りと喜びを抱く教育者		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
無しの場合どのように設定するか？	責任主体・組織	
	設定方法	
	設定見込み時期	
教員組織の編制方針		変更の有無
人事委員会の機能を重視する。また現状を再検討し、課題があればそれを解決することに努め、年齢構成と男女比のバランスがとれた自由闊達で活気ある教員組織をめざす。		<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し

A-7. 教員像、教員組織の編制方針に関する、適切性および検証体制・検証プロセスの確認		チェック欄
【確認1】	教員像は、教員に求める能力・資質、教育に対する姿勢等を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認2】	教員組織の編制方針は、組織的な教育を実施する上において、必要な役割分担や規模(人数)、教員の専門分野やスキル構成、責任体制、を明確にしているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
【確認3】	教員像・教員組織の編制方針は教職員で共有されているか。	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
適切性の検証体制を明確にしているか	責任主体・組織(承認・決裁)	研究科委員会(議長:研究科委員長)
	検証手続き	研究科委員会での審議による。
	決定・判断時期	随時
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
検証プロセスを適切に機能させているか	検証方法(指標、測定方法など)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 機能させている <input type="checkbox"/> 2. 機能させていない 研究科委員会による確認手続き
	成果	<input checked="" type="checkbox"/> 成果あり (内容:問題のないことが確認された。) <input type="checkbox"/> 成果なし
	改善・伸長に向けた	<input type="checkbox"/> 計画あり (内容:) <input checked="" type="checkbox"/> 計画なし
	検証エビデンス	研究科委員会議事録
周知・公表方法	<input type="checkbox"/> 規程、規則、内規 <input type="checkbox"/> 履修心得 <input checked="" type="checkbox"/> 学院Webサイト <input type="checkbox"/> パンフレット、リーフレット等 <input type="checkbox"/> その他 ()	